



すてきなうち

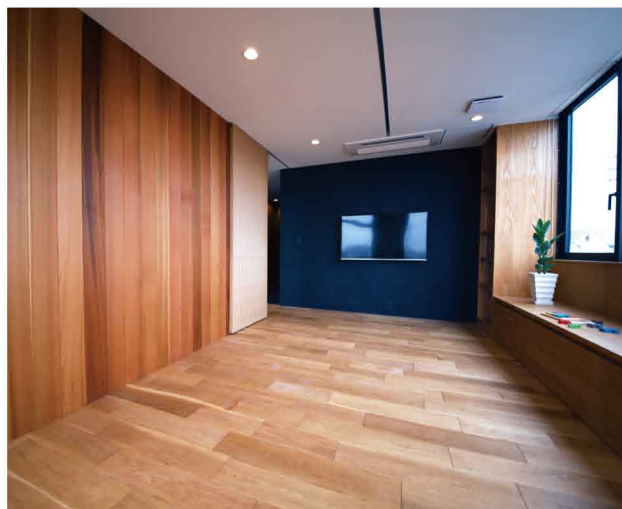
「ショールームと 事務所を兼ね備えたつくり」

今回ご紹介するのは栃木県宇都宮市に会社を構える設計事務所【STaD】さんの事務所兼ショールームです。代表の鈴木氏は今年の2月に同市内の設計事務所から独立をし、STaDを立ち上げました。事務所立ち上げに当たり、お客様との打ち合わせにも使用する事務所…普通の事務所よりもお客様が一般の住宅をイメージしやすいようにと事務所の機能は残しつつ、兼用してショールームとして実際の空間をイメージできるデザインと自然素材にこだわった仕様になっています。

内装はというと、床材には150mmの幅広のオーク材、同氏のお気に入りでもあるアクセントのあるレッドシダー、棚や机等の家具もランバーコアで製作するなど自然素材あふれる仕上がりになっています。同氏のこだわりでもあります。「既製品をなるべくなくす」特にお客様ひとりひとりの住宅デザインに合わせた建具や家具の提案・製作も行います。

また、事務所改修にあたり掃除と塗装工事にはご自身も参加したようで「大変だったけど良い思い出です」と苦笑いながらも思い出話をして下さいました。実際の現場でもお施主様に塗装工事に参加してもらうことで、住まわれてからのメンテナンス方法であったり、家に愛着を持ってもらい、更にはお客様との関係性も自然と築くことができるそうです。

改修前の事務所と比べて「木をふんだんに使った事務所は匂いや温かみが全然違い、快適です」とおっしゃっていました。取材当日もまだ冬の寒さが残る時期でしたが事務所内は温かく、実際に事務所までの階段を上る途中から木の香りを私も感じました。



▲ オーク床材とアクセントの効いたレッドシダー



▲ 造作家具はランバーコアで製作



▲ 自然素材をふんだんに使用した事務所

今後この事務所兼ショールームも少しずつ変化を加えて、仕事をする自分達も楽しみつつ、お客様に気に入ってもらえる家づくりを継続していきたい!と熱く話をさせて頂きました。お客様の安全と快適を第一に考えた「心地よい空間」をより多くの方に伝えていきたいとおっしゃるSTaDさんのこだわりに、お客様が安心して任せられる気持ちも納得です。

(新野)

すてきな うち 設計事務所紹介

安全第一の心地よい空間

STaDさんは現在、代表とスタッフ1名。事務所立ち上げから2か月と若い会社さんですが、前事務所での経験やノウハウを生かし、また代表ご自身も子育て世代ということもあり子供目線も取り入れた安全性・デザイン性のある空間、家づくりを提案しています。

ご紹介した通り、自然素材をふんだんに使用した事務所兼ショールームはお客様との打ち合わせはもちろん、日々のデスクワークも楽しく行っています。

お客様の立場に近いからこそ提案できる空間を追求し続けるSTaDさんに今後も注目です!



▲ スタッフ川崎さんと代表の鈴木氏(右)

●会社概要

会社名: STaD
鈴木貴博建築設計事務所
代表者: 鈴木 貴博
所在地: 栃木県宇都宮市御幸ヶ原町
エリア: 宇都宮市近隣

大和屋だけのオリジナル



【大和屋アッシュフローリング】

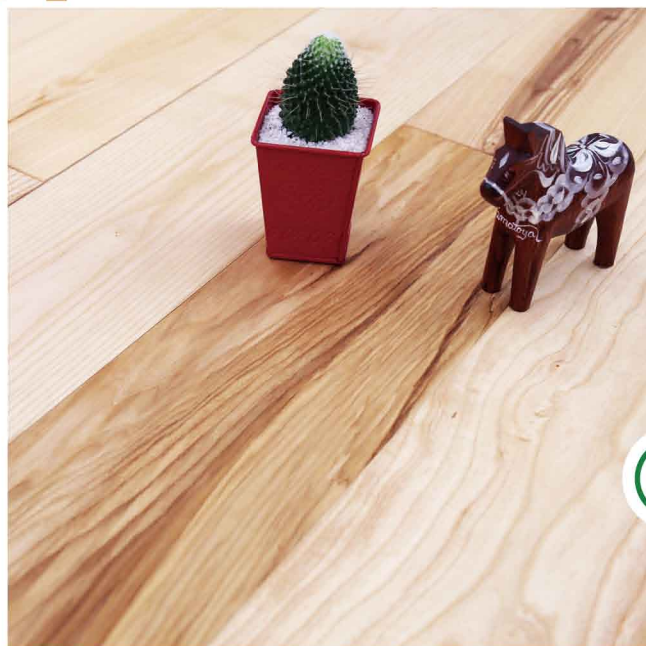
古くから家具、そして野球のバットなど、私たちの身の回りで親しまれているアッシュ。

こちらのヨーロッパ産アッシュは、大きな節、流れるような木目、そしてはつきりとした色の濃淡が特徴で、無垢材ならではのラフな仕上がりを贅沢なソリッドタイプでご用意しました。働き幅160mmの床材は部屋の雰囲気をより一段と高いものに仕上げてくれます。

オイル塗装を施してありますので、素材の良さを残しつつ、取り扱いやすい商品に仕上げました。

乱尺(500~2200)×160×20(1.715㎡/束) 節有 オイル塗装 …… 定価 20,000円/束

(石田)



業界はっとNOW

平成25年省エネ基準 4月1日から完全施行



5年後の2020年の義務化に向け、更なる商品開発を

完全施行とはいえ、300㎡未満の小規模住宅においては努力義務にとどまります。現在のところ、必ず必要になる場面は、長期優良住宅・低炭素認定住宅・ゼロエネルギー住宅などの認定を得る場面となります。

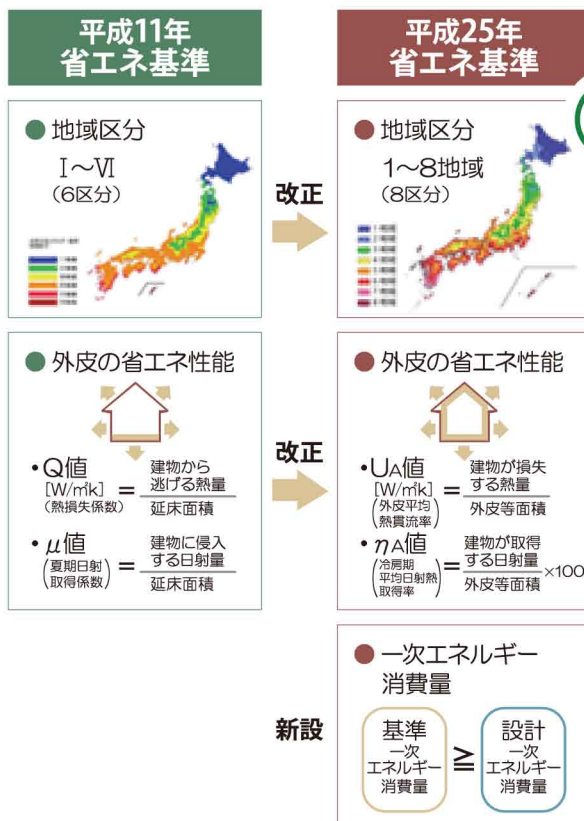
すべての住宅に義務化となるのは2020年。だからこそ、今のうちから当たり前として適応し、差別化に活用しましょう。

2020年時点で、H25年基準適合以外の住宅は「既存不適格建築」!

今、建築した建物が5年後に「既存不適格住宅」にならないようお施主様にも説明し、新基準適合住宅への理解をしていただきましょう。資産価値についても不利になる恐れもありますし、もし改修で断熱性能を向上させようとすると、新築時以上にコストがかかります。

「あと5年後には当たり前」となるのがH25年基準です。その時の差別化のために、今からさらに1歩先に出る商品開発が必要となります。

(山岡)



海外だより ~Earth Culture~

ドイツの展示会(後編) 「BAU編」

パウ



前回に引き続き、ドイツ展示会視察のレポートをお届けします。



床材展示会^{ドモテックス}Domotexに引き続き、ドイツの新幹線「ICE」にてミュンヘンに移動し、2年に1度開催される^{パウ}BAUの視察を行いました。

さすがは世界最大級の建材展示会。出展者、来場者ともに熱気がすごい! 何千にもおよぶ出展者がひしめき合い、各ブースで多くの方々が熱心に話をしている様子は圧巻です。

注目すべき商品は多くありましたが、やはり目立ったのが住宅の消費エネルギーを抑えることができる商品群。中でもサッシに関しては木製・樹脂製ともに多くの出展があり、性能も抜群。日本ではようやく大手メーカーが世界に対抗できる性能を打ち出し始めましたが、ここヨーロッパでは「当たり前」という印象・・・やはり、その差を痛感してしまいました。高性能サッシを手に入れるには大きな予算確保が必要ですが、オーストリアのメーカーの話によると、オーストリアでは住宅の費用の約10%をサッシの予算に充てるのが一般的だそうです。3500万円の家なら、350万円。これなら、高性能サッシの採用も可能です。住宅性能を大きく左右するサッシ。ここ日本でも住宅を建てる際の最重要ポイントの一つとして、大きく予算を充てる必要がありますね。

その他にも、外付けブラインド、木質系を含む断熱材などの高性能商品の出展や、フローリング、ドアなどデザイン性に富んだ商品の出展も多くあり、多くの刺激を受けて来ました。



この視察で得たアイデアを元に、大和屋としても商品開発を進めて参ります。
ご期待ください!

(東森)

大和屋ニュース



チャリティーウォーク開催しました

3/8に毎年恒例の東北復興支援イベント「第4回チャリティーウォーク」が開催されました。

大和屋の運営するコミュニティ施設「くまがや館」を出発し、5km, 11km, 14kmの3つのコースを設定して参加を募りました。去年は250名の参加でしたが、今回は511名の方に応募を頂くことができました。

当日は残念ながら雨と強風に見舞われ、参加者は411名まで減ってしまいましたが、出発地点では地元ケーブルテレビの取材・熊谷高校の応援団・ベーグルで有名なウスキンクさんなどの出展があり、イベントは年々盛り上がってきています。

来年も開催予定ですので、お時間のある方は是非参加してみてください！



出発地点の「くまがや館」



熊谷高校の応援団と
ケーブルテレビマスコットの
ざっくう
(黒田)

新ドライバーご案内

自社のドライバーが変更になりました。



しいはら なおや
椎原 直也

趣味：ドライブ
マイブーム：日曜大工
血液型：O型(笑)

(野本)

力には自信があります。
まずはお客様に安心感を与える為にも、
親切、丁寧をモットーに納品致します。
今後現場でお会いすることもあると思いますが
宜しくお願い致します。



▲(左)今までお世話になりました。丸山ドライバー
(右)新ドライバー 椎原



大和屋 建材部



Facebookで
チェックして下さい！

<https://www.facebook.com/yamatoya.kenzai>

大和屋建材部では、Facebookにてイベント、新商品、最新の業界情報などを発信しています。また、海外の仕入先視察の様子など、普段はお見せできない商品開発の裏側もリアルタイムで公開しております。



編集後記



4月を迎え、大和屋にも新たに6人の社員が入社しました。約3ヶ月の研修期間中、皆様の元へ勉強に伺う事もあるかと思うので、どうかあたたかく見守っていただければ幸いです。

フレッシュな若人に負けないよう、先輩社員も心持ちを新たに仕事に取り組みますので、こちらは厳しく(時に優しく)見守っていただければと思います。(宮崎)



レッドパイン 大和屋

検索

<http://www.yamatoya-kk.co.jp/kenzai/html>